

米独英の現実から学ぶもの



社団法人 日本レコード協会
会長 富塚 勇

「IT不況」だという。同じ新聞がつい1年ほど前には「景気回復の牽引車はIT」と煽っていた。

I F P Iの報告によると、今年上半期（1月～6月）のレコード産業の販売実績は、アメリカとドイツがともに9%強の前年比ダウン（数量比）、イギリスだけが14%の伸長を示した。

IT先進国アメリカでは特にシングル盤の減少が顕著であることから、ヒット曲のネット海賊の影響が大きいと推測される。ナプスターは本年3月の連邦高裁の判決以来、活動は半休止の状態であるが、それに代ってオーディオギャラクシィ、ミュージックシティ、カザーなど、中央サーバーを持たないP to Pのファイル交換ソフトが出廻り、ネット海賊は跡を絶たない。

一方ドイツでは、CD-R海賊による被害が最大であると指摘されている。地続きの旧共産圏である東欧諸国から流入する海賊版工場製のCDも含めて、ドイツの海賊CDの量は正規商品のそれに匹敵するという。

イギリスが好調を示したのは「ニュースターの輩出が大きく貢献」したためと報じられている。大陸と海を隔てているために海賊CDの流入が微少であることもあるだろう。そしてイギリスはインターネットの普及は遅れている方だ。

こうした海外諸国の現状から我々は何を学ぶべきだろうか。

ひとつは、パソコンとネット人口が増大しても、著作権者保護のための技術的対策や法整備は遅れ、音楽の有料配信市場が形成されるより早くネット海賊がはびこるという現実。新しい技術やインフラに過大な期待をすると、「文明の利器」が「文化の凶器」ともなるということ。

そしてもうひとつは、ニュースターを輩出させるクリエイティブの力こそが音楽産業伸長の王道であり、永続的発展の牽引車であるということではないだろうか。

Contents

Contents

THE RECORD……2001.10 No.503

●コラム	2
米独英の現実から学ぶもの 社団法人日本レコード協会 会長 富塚 勇	
●最新事情	3
レコード・音楽用CD店頭視聴システム	
●Information	7
第10回廃盤セール開催 第39回福祉・厚生施設へのレコード寄贈実施 第29回IMC総会・国際会議東京で開催 北京「日本音楽情報センター」開設期間延長決定 日韓共同制作アルバムいよいよ発売へ I F P Iアジア太平洋地域理事会／評議会開催 第5回Techno-Legal Forum開催 当協会定款一部改正 当協会会員社関連 当協会人事異動	

●会議メモ	11
●GOLD ALBUM 他 認定作品	12
●世界の話	12
●レコード生産実績	14
●統計資料	15

最・新・事・情

● 音楽ファンに新しいサービスを提供 ●

デジタル化、ネットワーク化がレコード産業にもたらす影響について、音楽配信等のノンパッケージの動向に目が向けられがちですが、ブロードバンドをはじめとする IT インフラの充実により、店頭販売を中心とした音楽パッケージビジネス上でも、音楽ファンに新しいサービスを提供できるようになりました。そのひとつが、今回紹介するレコード・音楽用 CD 等の全く新しいタイプの店頭試聴サービスです。

レコード・音楽用 CD 店頭試聴システム

音楽は、SP レコード、LP/EP レコード、カセットテープなどの時代を経て、主に CD によって広く親しまれるようになりました。

最近ではインターネットを代表とするデジタルネットワーク上を音楽コンテンツが流通する時代になったと言われます。確かに、技術的には、ネットワークの高速化、最新のデジタル技術による高品質化が進み、国境を越えるネットワーク流通が可能となっていますが、それでも音楽の流通は CD などのパッケージとしてレコード店などを通じて販売されるものが主流です。

しかし、音楽ファンがレコード店に行っても、自分が欲しいレコードに巡り合う機会は、たまたまレコード店内で流れていた BGM を聴いたり、店頭試聴用レコードなどで実際に曲を聴くことができる場合に限られていました。

そのため、レコード店では、かつてアナログ LP の試聴サービス行っていたところがありました。しかし、針によって溝が削れたり、盤面に傷がついたりして、商品として売れなくなってしまうことがありました。

CD の時代に入ると、盤面の傷などの心配はなくなりましたが、一度開封すると新品ではなくなってしまうという問題があります。

レコード販売店では、来店者に気に入ったレコードを購入してもらうため、店頭試聴システムの充実を進めてきていますが、その最新事情がどうなっているかについて調べてみました。

従来型 CD 再生試聴機

●
音質が良く、
聴きたい曲を聴きたい時間聴ける

●
CD が 3 枚から 10 枚格納された、CD 再生型試聴機で、そのパネル上のボタンやダイヤルなどを操作して CD を聴くシステムです。

CD をそのまま再生するため音質は良く、試聴者は、聴きたい曲の聴きたい部分を聴きたい時間聴くことができます。

このタイプの試聴機を設置しているレコード店では、主に新譜あるいは特定分野のコーナー展開をし、そこに展示されている CD を試聴してもらうために使い、効果を上げています。

しかし、このタイプの試聴機では、1 人の試聴者によって占領される時間が長くなることがあり、その間は、次の試聴希望者は順番待ちをする必要があります。

試聴音源データ対応試聴機

●
インターネット経由での
アクセスを可能に

●
JMD (株式会社ジャパンミュージックデータ) が生成した音源データを利用した店頭試聴機で、JMD

が保有する音源データベース (DB) に蓄積されている試聴用音源を呼び出して聴くシステムです。

現在店頭で導入されているのは、CD-ROM に収録された JMD の試聴用音源データを店内サーバーに蓄積し、そこに接続された試聴機で聴いてもらうシステムで、現在プレクスター社とエクセル社によって運営されています。

また、11 月には、JMD のデータを利用したネットワーク型試聴機も登場する予定です。

これは、JMD の DB に蓄積された試聴用音源に、このシステムの試聴機を設置しているレコード店がインターネット経由でアクセスし、その音源データを店内に設置された試聴機で聴けるようにするというものです。



▲リスニング・ステーション (プレクスター社)

このシステムを採用したブイシク社の試聴設備は、JMD の音源 DB から ADSL 経由で店内キャッシュサーバーに送信された試聴用音源を、店内無線 LAN で結ばれた試聴機 (親機と子機) によって聴くことができるというものです。親機では商品のバーコードを読み取ることでそれに該当する CD が聴けます。子機にはコーナーごとに異なったアルバムタイトルを登録しておき、子機のパネル上で操作してそのアルバムから聴きたい曲が聴けます。この試聴機は「リスニング POD」と命名されています。



▲ミュージック・ナビ (エクセル社)



▲リスニング・ポッド (ブイシク社)

JMD

●
年内には5万タイトルを超える
レパートリーに

■試聴用音源

JMD は、各レコード会社から提供された音源を DB 化し、これを試聴機メーカーに供給しています。同社は、現在アルバム 4 万タイトル (約 40 万曲相当) を超える試聴用音源データを有していますが、引き続き、毎月発売される新譜約 1,000 タイトルと既に発売されてデータ化されていない CD アルバムの試聴用音源データを生成し、年内には 5 万タイトル (50 万曲相当) を超えるレパートリーを揃える予定です。

同社では現在、その DB から、レコード店のサーバーに蓄積する試聴用音源データの CD-ROM を作成し、試聴機メーカーに提供しています。

試聴用音源は、原則、曲の開始から 45 秒間 (一部 30 秒のものあり) とされていますが、クラシックとジャズについては、それぞれ専門家が聴きどころを抽出し、解説も加えています。

■販促素材

JMD は、試聴用音源が収録されている CD のバーコード情報とアルバムの簡単な解説を併せて試聴機メーカーに提供しており、試聴機メーカーはこれらのデータをレコード店に供給しています。新譜予約用として、アーティスト、タイトル、発売日、バーコードなどを印刷した予約カードも提供しています。これは、予約する CD のバーコードを読み取って試聴できるようにするものです。



▲バーコード予約票

新星堂恵比寿店

●
プレクスター試聴機を
予約用にも活用

CDを実際に格納するタイプの従来型試聴機約40台と、プレクスター試聴機12台の店頭試聴機を設置しています。

従来型試聴機は新人のキャンペーン、推薦盤コーナーなどに設置されており、常に新鮮味を失わないよう試聴CDの入れ替えに心掛けているとのことでした。

プレクスター試聴機は、新譜でも旧譜でもバーコードを読み取っての試聴が可能であるため、特定アーティストや特定分野のコーナー展開をして、そこに在庫されているCDを聴けるように配置されています。また、新譜の発売前であっても、そのCDのバーコードがあれば、そのバーコードを試聴機のリーダーで読み取って試聴できるため、予約用としても活用されています。



▲新星堂恵比寿店内

プレクスター試聴機を導入したのは1年ぐらい前ですが、バーコード対応試聴機というのが一般的ではなかったため、開封せずに試聴できることを店内スタッフが試聴希望者に説明する必要がありました。しかし、一度経験するとリピーターとなり、来店すると必ずこのプレクスターコーナ

で試聴します。また、その後30分以内に購入する来店者の比率が高くなったそうです。

店では、プレクスター試聴機で聴けるCDにはステッカーを貼付して、識別できるよう工夫をしています。

ヴァージンメガストア新宿店

●
需要に応えるため、
旧譜を中心に幅広い品揃え

新宿店で話を聞きましたが、ヴァージンメガストアでは、去年10月仙台店で最初にバーコード試聴機を導入し、その後、新宿、静岡、松山と、開店あるいは改装等の機会を捉えてこのタイプの試聴機の導入を進めてきています。

新宿店では、従来型試聴機を220カ所、プレクスター試聴機を40カ所に設置するほか、音楽情報や店内情報などの提供のためにインターガイドが20カ所に設置されています。

ここでは、従来型試聴機は、主にそれぞれの音楽カテゴリーの新譜コーナーで利用されています。

プレクスター試聴機は主に旧譜を聴いてもらうために利用されており、試聴機で聴けるCDには特別のステッカーが貼付されています。

お客様の需要に応えるには、旧譜を中心とした幅広い品揃えが必要となりますが、プレクスター試聴機はそのサーバーの容量が一杯になっても、サーバーの増設で試聴音源を増やすことが可能であるため、このような豊富な試聴音源に対応できるタイプの試聴システムは、ユーザーサービスのひとつとして今後有効なものになると考えられます。



▲ヴァージンメガストア新宿店店内

試聴サービス提供会社一覧

サービス名	会社名	連絡先	サービス開始	親機	子機
Listening Station	プレクスター(株)	03-3517-8061	2001年2月～	バーコード	—
Sound NAVI	エクセル(株)	048-857-3541	2001年8月～	バーコード・検索	バーコード・検索
Listening pod	(株)ブイシク	03-5468-0121	2001年11月～	検索	特定の10タイトル

JMD音源使用試聴機導入店舗一覧

アサヒレコード	大分県日田市	新星堂 カルチェ5 仙台店	仙台市青葉区
アシーネ ダイエー甲子園店	兵庫県西宮市	新星堂 恵比寿店	東京都渋谷
石丸電気 上尾ビッグワン	埼玉県上尾市	新星堂 上大岡店	横浜市港南区
石丸電気 ソフトワン	東京都千代田区	新星堂 港北東急店	横浜市都筑区
石丸電気 3号店	東京都千代田区	新星堂 名古屋店	名古屋市中村区
石丸電気 青葉台ビッグワン	横浜市青葉区	新星堂 天王寺ミオ店	大阪市天王寺区
井上電機 ディスクショップ ビブレ店	香川県綾歌郡	新星堂 小倉駅ビル アミュプラザ店	北九州市小倉北区
ヴァージンメガストア 仙台店	仙台市青葉区	スターショップ 阪神BREEZE 店	大阪市北区
ヴァージンメガストア 新宿店	東京都新宿区	デオデオ 本店	広島市中区
ヴァージンメガストア 静岡店	静岡県静岡市	DISK INN SHINSEIDO 吉祥寺店	東京都武蔵野市
王将 遊ING 長崎店	長崎県長崎市	DISK INN SHINSEIDO ルミネ立川店	東京都立川市
カルフル・ジャパン 幕張店	千葉市美浜区	BOOK DEPOT 書楽	埼玉県さいたま市
カルフル・ジャパン 南町田店	東京都町田市	文真堂書店 安中店	群馬県安中市
カルフル・ジャパン 光明池店	大阪府和泉市	文真堂書店 上原店	群馬県沼田市
関東学院購買部	横浜市金沢区	文真堂書店 小桑原店	群馬県館林市
金宝堂	香川県三豊郡	文真堂書店 TIME CLIP 新井店	群馬県太田市
コーチャンフォー 釧路店	北海道釧路市	文真堂書店 連取店	群馬県伊勢崎市
サウドガーデン イノウエ	香川県高松市	平安堂 長野店	長野県長野市
サウンドファースト 六甲店	神戸市灘区	ベスト電器 福岡店	福岡市中央区
JEUGIA 上本町店	大阪市天王寺区	山野楽器 銀座本店	東京都中央区
新響楽器	兵庫県尼崎市		

ジャズ&クラシック 聴きどころ

●クラシック● クラシック音楽では、1曲の長さが長大なもの（特に交響曲や協奏曲のような「楽章」のあるもの）、パートによって色彩が異なるもの（例えば管弦楽曲）、小品集や編集もの、オペラ等々、1カ所あるいは2カ所の「聴きどころ45秒を抽出する」ことに苦労があるようです。

現在クラシックの試聴箇所を選定している幸松肇氏は、月間、全社併せて100～150タイトル発売される新譜を聴いて、一番聴いてもらいたい部分を選び出し、そのアルバムのセールスポイントを書いているので、苦労することはあるが喜びも見出すことができるとの感想を持たれています。

●ジャズ● ジャズの試聴音源については、川嶋文丸氏がアルバム収録曲中3曲を「推薦曲」として選定し、その各曲から45秒間の聴きどころを抽出しています。また、各アルバムのセールスポイントの解説として、共演者、録音年月日、再発売のものについては歴史的評価なども書かれています。

ジャズとその周辺ジャンルのレコードは、月間80～100タイトルが発売されますが、その3分の1ぐらいは新曲であるため、推薦曲の選定とその聴きどころを探し出すためには見当を付けながら聴かなくてはならないため、苦労があるそうです。

第10回廃盤セール開催

今年も廃盤セールの開催が迫ってきました。同セールは今年で第10回目となりますが、今回から開催方法を大きく変更することになりました。

従来は特設会場にて開催しており、特にここ数年は東京会場のみでの開催となっていることから、全国的なファンの要望に応えにくいことが同セールの難点となっていました。

そこで、全国の音楽ファンの皆様からのご期待にお応えしたい、との趣旨で、今年からは“インターネットを利用した通信販売”として、2週間にわたり、セールの実施をすることになりました。

サイトのアドレスは、<http://fair.jmd.ne.jp> です。

是非アクセスしてみてください。

詳細は以下のとおりです。

■名称

「新品CD 大ディスカウントフェア
～レコードファン感謝祭2001
廃盤特別謝恩セール～」

■開催日程

2001年11月1日(木)
～11月14日(水)

(なお、10月15日(月)より、事前の商品閲覧とユーザー登録ができます。商品のご注文は、11月1日(木)午前9時より開始させていただきます。)

■主催

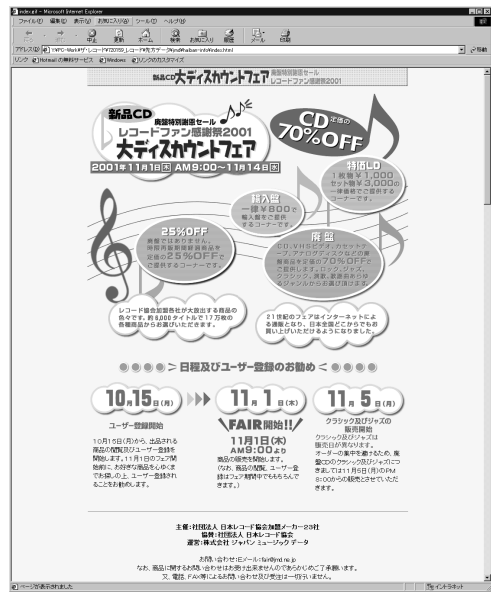
(社)日本レコード協会加盟
メーカー23社

■協賛

(社)日本レコード協会

■運営

(社)ジャパンミュージック
データ



第39回福祉・厚生施設へのレコード寄贈実施

当協会では毎年、全国の福祉・厚生、療養施設にレコードの寄贈を行っています。これは、各施設の皆様により広く、多くの音楽を聞いていただき、生活に潤いを持っていただくことを目的として昭和38年より開始したもので、当初はアナログディスクの寄贈を行っていました。その後、昭和58年からはカセットテープ等、平成5年からはコンパクトディスク等を寄贈し続けているもので、今回で39回目を迎えました。

本年の寄贈は、国際音楽の日(10月1日)を中心とした日程で実施され、全国400カ所の児童保育施設、心身障害者施設、

老人ホーム等へ合計8,000枚・巻(コンパクトディスク等)の寄贈を行いました。

今年は、全国を代表する形で東京近郊1カ所に直接訪問して贈呈式を行い、その他は(財)日本民生文化協会を通じて寄贈を行いました。贈呈式は、東京都練馬区大泉学園の特別養護老人ホーム「やすらぎミラージュ」にて行われました。当日は、ビクターエンタテインメント(株)所属の山内恵介さん、当協会レコード寄贈プロジェクト 米倉 建一座長(PI社)、日本レコード商業組合 佐々木 宣昭理事をはじめ、東京十日会、日本レコード商業組合それぞれの代表の方

と当協会の関係者が共に訪問し、同施設の馬場 八重子施設長にコンパクトディスク等を手渡しました。引き続き、山内恵介さんのミニライブが行われ、「霧情」「恍惚のブルース」など計5曲が披露されました。山内さんは、同施設の入居者・職員等120名全員と握手、記念撮影もを行い、式は穏やかな雰囲気の中、成功裡に終了しました。



贈呈風景

第29回 IMC 総会・ 国際会議東京で開催

国際音楽評議会 (IMC = International Music Council) は、全世界規模での音楽の普及・振興や研究・促進、音楽家の権利擁護等に資することを目的として、ユネスコの要請によって1949年に設立されました。当協会が会員となっている「IMC 日本国内委員会」は、日本がIMCに加盟した1952年に設立されています。

IMCは、その目的を達成するためにいろいろな活動を行っていますが、2年に1回、奇数年に開催される総会・国際会議では、全体会議や分科会、シンポジウム、コンサート等を行い、音楽を通じての国際的交流が図られています。

今年は、9月28日から10月2日の5日間に亘って、東京において、「第29回国際音楽評議会 (IMC) 総会・国際会議」が開催され、その一環として各種会議、シンポジウム、コンサート等が行われました。

特に、今年は、IMCが掲げている世界規模での音楽の普及・振興に関して、そのグローバルゼーション（地球化）と各国・地域の個性や特性の関係をどのように調整していくかという問題に取り組むため、シンポジウムを行いました。

今回の行事は、日本の「国際音楽の日」である10月1日を中心に行われましたが、この国際音楽の日は、IMCの提唱に従って、1994年に制定されたものです。

北京「日本音楽情報 センター」開設期間延長

(財)音楽産業・文化振興財団が平成11年5月に中国・北京に開設して以来2年半が経過した「日本音楽情報センター」ですが、現在では、会員も4,000名を突破、連日多くの中国の若者が来場し日本音楽を楽しむなど、中国で唯一日本音楽を聴くことのできる場として評価を高めています。

今年6月には館内の改修として、約1ヵ月にわたり、①館

内天井の取替え、②館内照明器具の増設、③冷房機器の設置、④側壁の修理、⑤アーティストパネル設置、等の工事を行いました。

併せて事務所部分を増床し、この増床部分を「日本語レッスン」の教室として利用できるように改築しました。

この日本語教室は、日本の音楽CDの日本語歌詞を中国語に翻訳し、中国の若者に日本語歌詞の理解を深めてもらうことを主目的として開講するものです。教室は、最大16名の生徒がレッスンを受けられるように準備さ



改装したセンター内



日本語教室風景

れています。

同センターは開設時に3年間という暫定的な開設期限を設けてありましたが、9月6日(木)に開催された同財団第52回理事会において、開設期間の2年間の延長が承認されました。今後もより充実したセンター事業の推進を図っていく予定です。

現在のセンターの状況

- ・ 会員総数 (8月末現在) 4,197名
- ・ 月平均来場者 (7~8月) 約1,000名
- ・ 改装後センター面積 135㎡
(改装前センター面積) 19.9㎡
- ・ 現在のソフト在庫
 - CD 約3,000枚
 - 映像ソフト 約200枚
 - 音楽雑誌 約300冊

日韓共同制作アルバム
いよいよ発売へ

(財)音楽産業・文化振興財団は、日韓プロジェクト2002委員会企画・制作による日韓共同アルバム「PROJECT2002 The Monsters」について、10月24日に発売が決定したことを発表しました。

韓国では日本語曲のCD発売はまだできませんが、本誌4月号で既報のとおり、このアルバムは韓国文化観光部の例外的措置を受けて発売されます。当初は7月末の発売を予定していましたが、収録曲目の変更のために発売日が延期になっていました。

日本ではプロジェクト2002委員会、韓国では(財)韓国音楽

産業振興財団から両国同時発売されます。

収録内容は以下のとおりです。

PROJECT2002 The Monsters

01. ポルノグラフィティ / サウダージ
02. Kim Gunmo (キム・ゴンモ) / I LOVE SOCCER
03. 小柳ゆき / DEEP DEEP ~Over The Rainbow Mix~
04. Shin Seung hun (シン・スンフン) / THE UNWRITTEN LEGEND
05. SHU & Position / For You
06. FIN K. L (フィンクル) / With You
07. TUBE / Rising Sun

08. Jaurim (ジャウリム) / 11 (イレブン)

09. PUFFY / アジアの純真 ~English Version~

10. Yoo Sueng jun (ユ・スンジュン) / 一緒 (跳躍)

11. DEEN / Bridge ~愛の言葉愛の力~

12. Position (ポジション) / 二人じゃない一人

13. TUBE & Shin Seung hun / Dreams of Asia



ジャケット写真



録音風景

IFPI アジア太平洋地域 理事会／評議会開催

9月2、3日の両日、タイ・バンコクにおいて「第9回 IFPI アジア・太平洋地域理事会」および「第19回 IFPI アジア・太平洋地域評議会」が開催されました。

東南アジアは CD 全体における海賊版の比率が非常に高い地域で、タイは国内で販売されている CD 全体の25%、マレーシアは65%が海賊版と見られています。IFPI が海賊版対策において重要地域の一つとして指定しているこの地域で今回の会議は開催されました。

会議では、最初に海賊版の状況について、①中国とマレーシアにおける海賊版比率が高く、集中的に海賊対策を行う必要があること、②中国のWTO加盟が迫っており、今後3ヵ月間に集中して海賊版対策を行う予定であること、が報告されました。

その他、音楽デジタル配信の著作権使用料交渉が各国で行われていることが報告され、その中で、IFPI 事務局から、当協会が日本音楽著作権協会(JASRAC)と交渉を行って合意された著作権使用料率について、各国の交渉において参考になるものであるとコメントされました。

また、韓国では国内レコード産業団体 (RIAK) とインターナショナル・メジャー・レーベルが会員となっている IFPI 地域連絡事務所が存在していましたが、IFPI 地域連絡事務所は今年度末までに閉鎖され、RIAK がメジャー・レーベルおよび国内大手レコード会社を会員とする団体となる旨、報告されました。

この両団体の統合は、出席者から高い評価を受けました。

会議の中では、タイ商務大臣によるスピーチが行われ、今年成立した新政権における著作権保護への取り組みについての説明が行われ、出席者から大きな拍手が送られました。

第5回 Techno-Legal Forum 開催

9月26日(水)に当協会会議室において、当協会テクノロジーセンターと法務部の共催による「第5回 Techno-Legal Forum」が開催されました。

今回のフォーラムでは、電子署名法に基づいた Web 上の違法音楽配信を追跡するシステムの提案、MP3 プレーヤー等のポータブルデバイスへのダイレクトな音楽配信サービスの説明、携帯電話による試聴システムの提案が行われ、17社から40名以上の参加者があり、熱心な聴講と活発な質疑応答がなされました。

今回のテーマは以下のとおりです。

1. 「コンテンツのネット配信における違法コピー追跡システムについて」／
ベリマトリックス (株)
2. 「携帯デバイスへのダイレクト配信サービス」／
(株) リオポート
3. 「プリントメディアと携帯電話を連動させた音楽 CD の新たな販売促進策「♪M コード♪」推進プロジェクトについて」／レーベルモバイル (株)
尚、第6回 Techno-Legal

Forum は、10月24日(水)を予定しています。

第8回基礎知識講座開催

10月5(金)、当協会会議室において、第8回基礎知識講座が行われました。

本講座は、当協会邦楽制作部会の企画により発足したもので、制作の現場だけでなくレコードメーカー人として基本的を知っておくべき事項を学ぶ場として、年二回実施しているものです。

今回は、各会員社から邦楽制作担当者を中心とした30名の出席者があり、盛況に講座を終了しました。

講座のスケジュールは下記のとおりです。

記

第1部 DVDの現在と未来
講師 熊澤芳紀氏 (パ
イオニア LDC(株)
取締役制作部部長)

第2部 ブロードバンド時代の
音楽コンテンツ流通
講師 高堂 学氏 ((株)
ソニー・ミュージ
ックエンタテイン
メントデジタルネッ
トワークグループ
本部長)

当協会定款一部改正

当協会は9月13日付で定款を一部改正しました。

主な改正点として、従来2月、5月に固定していた総会開催を年2回、会長の招集による開催と変更した他、文化庁の指導により全体の見直しを行い、表現をより適切なものに改めました。

今回の定款改正は、本年6月度理事会において審議、承認され、その後、監督官庁である文化庁に認可を申請していたものです。

当協会会員社関連

<入会 (10月1日付・準会員) >
 ズンバ・レコーズ・ジャパン株式会社

代表取締役 北澤 孝
 〒107-0062

港区南青山 3-1-30 住生青山ビル

<代表者変更 (敬称略) >
 株式会社徳間ジャパンコミュニケーションズ (10月1日付)
 代表取締役社長 齋藤至廣

日本コロムビア株式会社 (10月2日付)
 社長兼最高経営責任者 松村克己

<住所変更 (9月25日営業開始) >
 株式会社徳間ジャパンコミュニケーションズ
 〒107-8584
 港区南青山 3-1-1 プラザ 246 青山ビル

当協会人事異動

<10月1日付>
 常務理事 生野秀年
 (事務局長、法務部長、広報部長は兼任)

広報部からのお知らせ

2001年10月より、当協会ホームページ及び機関誌「THE RECORD」をリニューアルしました。

これに伴い、HPアドレスを変更しましたので、お気に入り等に登録されている方はお手数ですがご変更をお願い致します。

また、「THE RECORD」は、今後、16ページ建てとし、増ページ分でレコード産業にまつわるトピックスを、毎月とりあげていきます。今月は、今大きく進化しようとしている店頭試聴機についてとりあげてみました。いかがだったでしょうか。

ご意見、ご要望等ございましたら、お気軽にお寄せください。今後ともよろしくお願い致します。

新サイトアドレス
<http://www.riaj.or.jp>

2001年9月 会議メモ(主なもの)

(9月1日～9月30日)

- 9・6 調査統計部会
 日本ゴールドディスク大賞実行委員会
 貸レ対策委員会
- 9・7 デジタル問題対策会議
- 9・10 レコード制作基準倫理委員会
- 9・11 邦楽政策部会
- 9・12 著作権部会
 インターネット部会 WG
 制作技術専門部会
- 9・13 営業部会
 技術委員会
- 9・17 顕彰委員会
- 9・18 洋楽部会
- 9・19 インターネット部会
- 9・20 業務委員会
 RIAJ21 プロジェクト
 デジタル問題対策代表者会議
- 9・21 ビデオ部会 宣伝部会
- 9・25 60周年委員会
 DVD ビデオ表示規格改正 WG
 法制委員会
 デジタル音楽情報委員会
- 9・26 Techno-Legal Forum 洋楽
 宣伝専門部会
- 9・27 洋楽企画専門部会
- 9・28 理事会

GOLD ALBUM 他認定作品

2001年 8 月度

アルバム

(19 作品)

邦 楽

■2ミリオン

Mr. Children 1992-1995/Mr. Children/20010711 (TF)

■クワドラプル・プラチナ

Mr. Children 1996-2000/Mr. Children/20010711 (TF)

■トリプル・プラチナ

gaining through losing/平井 堅/20010704 (DF)

Bon Appetit!/竹内まりや/20010822 (WJ)

■プラチナ

pamS(裏スマ) /SMAP/20010808 (V)

■ゴールド

FIVE/RIP SLYME/20010725 (WJ)

Volume 6/V6/20010801 (AVT)

SAVE OUR SHIP/浜田省吾/20010822 (SME)

Roadmade/コブクロ/20010829 (WJ)

Da Best Remix of Da Pump/DA PUMP/20010829 (AVT)

洋 楽

■プラチナ

SUPER EUROBEAT VOL. 120/V. A. /20010801 (AVT)

グリッター/マライア・キャリー/20010818 (SME)

ファンク・オデッセイ/ジャミロクワイ/20010829 (SME)

■ゴールド

ONE LOVE - ザ・ベリー・ベスト・オブ・ボブ・マリー & ザ・ウェイラーズ/ボブ・マリー & ザ・ウェイラーズ/20010627 (UM)

アリーヤ/アリーヤ/20010707 (TO)

レインボウ・コネクション〜アズ・タイム・ゴーズ・バイ/カーペンターズ/20010801 (UM)

アクチャル・サイズ/MR.BIG/20010808 (WJ)

ヴェスパタイン/ビョーク/20010818 (UM)

ノー・モア・ドラマ/メアリー・J・ブライジ/20010818 (UM)

シングル

(15 作品)

邦 楽

■プラチナ

時代/嵐/20010801 (PC)

GOLD/B'z/20010808 (BM)

慎吾ママの学園天国 - 校門篇 - /慎吾ママ/20010821 (V)

優しい歌/Mr. Children/20010822 (TF)

■ゴールド

Forever Memories/w-inds./20010314 (PC)

チュッ!夏パ〜ティ/三人祭/20010704 (EP)

サマーれげえ! レインボー/7人祭/20010704 (EP)

ダンシング!夏祭り/10人祭/20010704 (EP)

約束の季節/ゴスペラーズ/20010801 (SME)

YOUR INNOCENCE/hiro/20010801 (TF)

Say the word/安室奈美恵/20010808 (AVT)

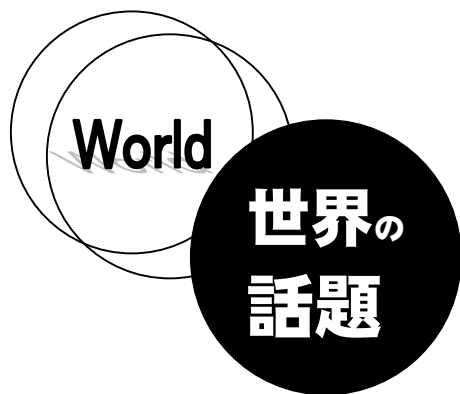
たいせつなひと/19 (ジューク) /20010822 (V)

IS IT YOU?/hitomi/20010822 (AVT)

Can't forget your love/倉木麻衣/20010829 (GZ)

出せない手紙/V6/20010829 (AVT)

※AR: アンティノスレコード/AVT: エイベックス/BG: ビーグラムレコーズ/BM: ルームレコーズ/BMG: BMG ファンハウス/C: 日本コロムビア/CR: 日本クラウン/CT: カッティング・エッジ/DF: デフスターレコーズ/EP: セティマ/EW: イーストウエスト・ジャパン/FL: フォーライフレコード/GZ: ギザ/JE: ジャニーズ・エンタテインメント/JF: J-FRIENDS P./K: キングレコード/PAR: プライエイド・レコーズ/PC: ポニーキャニオン/PG: ポリグラム/PI: パイオニア LDC/PO: ポリドール/PS: ポリスター/PZ: ピザ・オブ・デス・レコーズ/RR: ロードランナー・ジャパン/SME: ソニー・ミュージックエンタテインメント/SN: SENHA & CO./TE: テイチクエンタテインメント/TF: トイズ・ファクトリー/TJC: 徳間ジャパンコミュニケーションズ/TO: 東芝 EMI/TRI: トライエム/UM: ユニバーサルミュージック/V: ビクターエンタテインメント/VAP: ヴァップ/WJ: ワーナーミュージック・ジャパン/ZA: ズァインレコーズ



レコード産業 サイマルキャストिंग の国際的許諾システムを提案

放送事業者がインターネットで行う音楽配信に対し、国際的な使用許諾が得られるという画期的なシステムが、9月11日、レコード産業側から発表されました。

このシステムはIFPI(国際レコード産業連盟)によって開発されたもので、レコード産業の複数の徴収団体による相互協定により、放送事業者が地上放送をインターネットで同時送信(サイマルキャストिंग)する際に、レコードレーベルが国際的に通用する使用許諾をするというものです。

従来、レコード製作者や他の権利者団体は、国内での放送のみ許諾権限を有していましたが、この新システムによって、世界20ヶ国以上で行われる“サイマルキャストिंग(同時放送)”に対して許諾ができることとなります。対象となる国は最終的に30ヶ国を超える見込みです。今回の相互協定は、24ヶ国の徴収団体によってとりかわされており、一括許諾のアプローチを策定し、1年間(2002年5月31日まで)の実験を行っています。

サイマルキャストिंगは、インターネットでの送信方法として急速に普及してきており、3年前にはわずか750だったサイマルキャストिंग事業者が、現在は全世界で5,000以上と見込まれています。これまでは、自社の地上放送をインターネットでサイマルキャストिंगする場合、事業者は、その送信について国毎に許諾を得る必要がありました。

このシステムは、ヨーロッパ委員会でも再検討され、好意的に受け入れられました。今後、適法なオンライン音楽市場を構築していく上での重要な第一歩であるといえます。このシステムについては、2000年11月にブリュッセルに報告され、2001年8月に、第三者からのコメント対象とし、このシステムに対する賛同を得るつもりであることが委員会より明らかにされました。

IFPIのジェイ・バーマン会長は、今回のシステムに関して「インターネットでの音楽利用に関する国際的な許諾という難しい問題への取組みに向けての大きな前進」であり、「レコード産業が、インターネットを、世界中のファンに音楽を届ける重要なツールとして受け入れていることを示す前向きな一歩」とであると語りました。

この相互協定に合意しているのは、オーストリア、デンマーク、ドイツ、ギリシャ、アイルランド、オランダ、ポルトガル、スウェーデン、イギリス、チェコ、ハンガリー、ポーランド、スロバキア、カナダ、香港、マレーシア、シンガポール、ニュージーランド、台湾、南アフリカ共和国、アルゼンチン、メキシコ、ペルー、ベネズエラの24カ国です。(IFPI プレスリリース)

ドイツ警察、ヨーロッパ最大の 秘密海賊工場を発見

ドイツで、ヨーロッパ最大とみられる海賊版CD製造の秘密工場が摘発されました。世界のレコード産業はこの摘発を歓迎しています。

9月12日、ドイツ警察はケルン近郊の工場に対して手入れを行い、年間1億枚以上、販売価格で1,500万ユーロに相当する量の海賊版CDの製造が可能な機器を発見しました。

この工場では、国際的に有名なトップアーティストや同国内の作品と共に、オランダ市場向けの海賊編集アルバムを製造していた模様で、最近のマドンナの“Drowned World”ツアーを収めた海賊版も発見されました。

工場はふたつの製造ラインを持っており、あるレコード会社によって密かに運営されていたと思われていますが、詳細は不明です。関係者はドイツでひとり、オランダでふたり逮捕されており、警察は捜査を継続しています。

今回の捜査は、ドイツ警察、IFPI、ドイツ内のIFPIナショナルグループと、オランダの著作権管理団体である“BumaStemra”が共同で行った大掛りなものです。

海賊版問題は拡大し続けており、ヨーロッパの音楽産業にとって大きな問題となっています。全世界で一年間に販売される海賊版CDは6億枚以上、金額にして40億ドルを超えると予測されています。

IFPIは、世界中で執行期間及び政府と共に行動する50人の調査員を擁して、レコード産業の海賊対策を推進しています。

IFPIの執行部門責任者であるイアン・グラント氏は以下のように語りました。

「今回のドイツ警察による重要な摘発を、われわれは歓迎している。この摘発によって、海賊版業者が自分たちの犯罪行為を隠蔽しようとする動きが高まっていることが明らかになった。また、ヨーロッパ内の執行機関が国境を超えて協力することがきわめて有効であることもはっきりした」

IFPIは、海賊業者に対し、各国の執行機関が国を超えて協力体制をとることを可能にするため、新しいEUの立法の提案を支持しています。2002年春に検討が予定されている執行ディレクティブ(指令)は、ヨーロッパ内で最も重要な民事執行手段を強化するための最初の重要なステップといえます。(IFPI プレスリリース)

<2001年8月レコード生産実績>

社団法人 日本レコード協会

数量：千枚・巻

単位

金額：百万円

表1. オーディオレコード

	8月実績						2001年(1月～8月)累計							
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比		
シングル	8cm CD	邦	814	3	21	237	1	11	6,026	2	25	2,582	1	21
		洋	1	0	81	0	0	76	506	0	435	42	0	53
		計	815	3	21	238	1	11	6,532	3	27	2,624	1	21
	12cm CD	邦	6,630	25	90	4,900	14	86	66,750	26	99	51,096	15	97
		洋	138	1	224	152	0	281	842	0	142	722	0	140
		計	6,768	25	91	5,053	15	88	67,592	26	100	51,818	15	97
小計	邦	7,444	28	66	5,138	15	66	72,776	28	80	53,678	16	82	
	洋	138	1	221	153	0	278	1,349	1	190	764	0	129	
	計	7,583	28	67	5,290	15	67	74,125	29	81	54,442	16	83	
12cmCD アルバム	邦	11,963	45	88	19,141	56	98	124,146	48	95	208,712	62	100	
	洋	5,871	22	120	8,837	26	133	46,884	18	106	67,337	20	106	
	計	17,834	67	96	27,978	82	107	171,031	67	98	276,049	81	101	
CD 合計	邦	19,408	73	78	24,279	71	89	196,922	77	89	262,390	77	96	
	洋	6,009	22	121	8,990	26	135	48,233	19	108	68,101	20	107	
	計	25,417	95	85	33,268	97	98	245,155	96	92	330,491	97	98	
アナログ ディスク	邦	74	0	69	64	0	59	839	0	70	868	0	72	
	洋	21	0	60	24	0	63	143	0	64	165	0	51	
	計	95	0	67	88	0	60	982	0	69	1,033	0	67	
カセット テープ	邦	1,235	5	109	785	2	86	10,045	4	90	7,801	2	89	
	洋	8	0	313	7	0	305	43	0	67	33	0	61	
	計	1,243	5	110	791	2	86	10,089	4	90	7,835	2	89	
総合計	邦	20,717	77	79	25,128	74	89	207,807	81	89	271,060	80	95	
	洋	6,038	23	120	9,020	26	134	48,420	19	108	68,299	20	106	
	計	26,755	100	86	34,147	100	97	256,226	100	92	339,359	100	97	

表2. ビデオレコード

	8月実績						2001年(1月～8月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	2,561	66	146	5,480	50	121	21,913	65	172	44,840	51	152
LD・その他	145	4	84	209	2	63	1,469	4	66	2,459	3	54
テープ	1,173	30	72	5,264	48	89	10,389	31	74	40,939	46	88
合計	3,880	100	109	10,953	100	102	33,770	100	116	88,239	100	110

表3. オーディオ/ビデオ合計

	8月実績						2001年(1月～8月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	26,755	87	86	34,147	76	97	256,226	88	92	339,359	79	97
ビデオ	3,880	13	109	10,953	24	102	33,770	12	116	88,239	21	110
合計	30,635	100	88	45,101	100	98	289,996	100	94	427,598	100	100

<参考>表4. 複合型CD (CD-G、CD-I、CD-ROMなど)

	8月実績						2001年(1月～8月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
邦盤	10,221	100	59	-2,121	100	-101	88,173	100	74	10,765	100	81
洋盤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	10,221	100	59	-2,120	100	-101	88,173	100	74	10,766	100	81

備考 1. 本年実績は、会員会社「23社」の集計である。当会員会社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

2000年世界レコード売上トップ30

本号は国際レコード産業連盟(IFPI)が発行した「the recording industry in numbers 2001」から紹介します。

国名	売上総額 (百万米ドル)	世界シェア (%)	CDアルバム売 上枚数シェア (%)(注)	CDプレーヤーの浸透及び普及 (注)			
				世帯保有率(%)	世帯人数	個人所有率(%)	世帯普及率(%)
アメリカ	14,042.0	38.0	91	242	2.7	90	95
日本	6,535.3	17.7	84	113	3.0	38	62
イギリス	2,828.7	7.7	85	138	2.7	51	70
ドイツ	2,420.6	6.6	84	126	2.3	55	81
フランス	1,694.7	4.6	83	120	2.5	48	82
カナダ	819.3	2.2	95	110	2.6	42	80
ブラジル	724.7	2.0	100	30	4.1	7	25
メキシコ	665.9	1.8	80	33	4.6	7	27
スペイン	562.9	1.5	86	70	2.7	26	45
オーストラリア	561.3	1.5	90	75	2.6	29	58
イタリア	532.2	1.4	77	50	2.5	20	41
オランダ	455.0	1.2	94	123	2.3	53	92
スウェーデン	322.9	0.9	92	100	2.2	45	70
韓国	299.7	0.8	48	70	3.3	21	47
オーストリア	289.1	0.8	91	118	2.4	49	60
ベルギー	266.8	0.7	88	105	2.4	44	69
スイス	264.0	0.7	92	149	2.5	60	74
台湾	243.8	0.7	81	101	3.5	29	71
インド	236.7	0.6	6	2	5.1	0.4	2
デンマーク	233.3	0.6	96	134	2.3	58	89
ノルウェー	232.3	0.6	97	131	2.3	57	61
ロシア	197.0	0.5	9	—	—	—	—
アルゼンチン	171.3	0.5	79	37	2.7	14	32
ポーランド	156.5	0.4	59	38	3.9	10	32
南アフリカ	150.4	0.4	66	—	—	—	—
アイルランド	142.2	0.4	84	122	2.3	53	80
ポルトガル	141.5	0.4	75	79	2.7	29	54
トルコ	120.8	0.3	13	12	4.3	3	10
フィンランド	115.8	0.3	94	67	2.3	29	45
タイ	108.2	0.3	11	29	4.5	6	26

2000年の各国のレコード売上総額は、36,941.1百万米ドル。

注:売上枚数は3シングル=1アルバムで総数を算出している。世帯ごとのCDプレーヤーの数をパーセントで表示。多くの世帯は複数のCDプレーヤーを所有しているが、100%は普及していない。発展途上の市場では1世帯に1台以上のプレーヤーを所有する割合は低い。これらの国ではミュージックカセットと入れ替わることでCDが普及するものとみられる。数字は設置型/ポータブルCDを含む。他の機能と一緒に買ったCDプレーヤー、CDプレーヤー機能のみ、個人用CDプレーヤーを含むが、自動車内蔵のCDプレーヤーは含まない。